

一生つき合いたい“最愛の一脚”と出会う! 究極の椅子カタログ

ED-EdH

# ELLE DECOR

新連載

皆川 明

「ミナ ペルホネンの  
言の葉・物の木」

JAPAN

The World's Leading  
Design & Lifestyle Magazine

イームズ、ネルソン、サーリネン…etc.

ミッドセンチュリーの  
名作と暮らす家

インテリアの達人と選んだ

## 美しい椅子 120



一点突破主義で夢の住まいを叶える  
“わがままリノベ”のすすめ

2015年春夏コレクションから探る  
ファッション×インテリアの最前線

ベッドまわりで悩み解決!  
エル・デコの「快眠案内」

4

エル・デコ  
no.137 April 2015





De Vorm

エディー・ネ・ラッセル / オランダ版編集長

LJ &gt;&gt;&gt; Edine Russel

「ラウレンス・ファン・ウィーリンゲンがデザインしたデ・フォルムの「LJ」シリーズは秀逸。ペットボトルを再利用し、3Dプレス技術で加工して仕上げている。元気をくれるカラーも好きだし、重り心地も抜群」。アルテックの「ライバル」、バクスターの「パウハウス スペシャル エディション」もおすすめとのこと。



「LJ1」  
(W61.9×D57.1×H79×SH45cm)  
<http://www.devorm.nl/>

## 世界のエル・デコ編集長に “ひと目惚れ”の一脚を聞きました

エル・デコの各国版編集長たちはどんな椅子が気になっている？彼女たちが密かに愛する一脚について直撃インタビュー。日本のエル・デコ読者に向けたパーソナルな答えはこちら。

cooperation : CHISATO YAMASHITA



Red Blue &amp; Yellow

プラミティ・マダヴィ / インド版編集長

Leaf Chaise &gt;&gt;&gt; Pramiti Madhavji

プラミティはインドで活躍するデザイナー、レッド・ブルー＆イエローのシェーズロングを推薦。「『リーフ・シェーズ』は一枚板から彫り出された驚きの一脚。人間工学に基づいて、デザイナーの自然に対する観察が、この有機的な形を生み出したと思っているわ」。葉の柔らかさを表現した、表情豊かな佇まいが印象的。



「リーフ・シェーズ」  
<http://www.redblueyellow.in/>



Cappellini

マイケル・ブードロ / アメリカ版編集長

Acciaio Lounge &gt;&gt;&gt; Michael Boodro

「マックス・リブセイが手がけたカッペリーニの『アッチャイオラウンジ』は、まさにイタリアのミッドセンチュリー・スタイルの現代版」とマイケル。自転車の部品など革新的な素材を使用した、エレガントで新しい一脚だ。「ジェイムス・ウィルキンスの『ゴールデン セクション チェア』もチェックすべき！」と教えてくれた。



「アッチャイオ ラウンジ」  
(W61×D68.6×H72.4cm)  
<http://cappellini.it/>



Artek

フローラ・ジマカ / キリシヤ版編集長

Crinolette Armchair &gt;&gt;&gt; Flora Tzimaka

「イルマリ・タピオヴァーラの『クリノレッテアームチェア』が本当に好き」と語るフローラ。「この椅子を見ると、ニューオーリンズの家々に備えられたコロニアルスタイルのポーチが思い出されて、ノスタルジックな気持ちになるの」。同じくアルテックの「ライバル」やバオラ レンティの「ホルトフィーノ」も外せないという。



「クリノレッテアームチェア」  
(W66×D67×H74×SH38cm)  
22万6,800円 / アルテック ジャパン



Molteni &amp; C

マルゴザータ・シュチェパンスカ / ポーランド版編集長

Chelsea &gt;&gt;&gt; Malgorzata Szczepanska

「ロドルフォ・ドルドーニが手がけたモルテーニの『チェルシー』シリーズは、全体のバランスが完璧。少し贅沢な時代を超える名品ね」。このほかに、ジースター ロウとヴィトラが手を組んだジャン・ブルーヴェの「ロウ オフィス エディション」、復刻したカール・ハンセン&サンズの「CH 88」も気に入っているという。



「チェルシー ラウンジチェア」  
(W72×D81×H105×SH43cm)  
39万4,000円～ / アルフレックスジャパン



Gebrüder Thonet Vienna

アレクセイ・ドロズキン / ロシア版編集長

Lehnstuhl &gt;&gt;&gt; Aleksey Dorozhkin

「まず一脚選ぶなら、ナイジェル・コーツがデザインした『レーンシュトゥール』。時代を超えた名品だと思う。ロシアの田舎町にある屋敷を思い起こさせる少し懐かしい感じもいい。B&B Italiaの「アスク」シリーズ（特にオレンジとレザーがお気に入りとのこと！）や、デサルトの「エレメント」にも深い思い入れがあるという。



「レーンシュトゥール」  
(W74.8×D88×H85×SH41cm)  
<http://www.gebruederthonetvienna.com/>



Vitra

ジュリア・カン / 韓国版編集長

East River Chair &gt;&gt;&gt; Julia Kang

「ヘラ・ヨンゲリウスがヴィトラのためにデザインした『イーストリバー チェア』を見て、ひと目で恋に落ちたわ。私が彼女のファンになるきっかけとなった作品」とジュリア。「コロンビアのソーシャルプロジェクトから生まれた、マルニのチャリティ・コレクション『マルニ : 100 チェアーズ』も素晴らしい」と語る。



「イーストリバー チェア」  
(W64×D71×H74×SH40cm)  
22万8,000円 / ヴィトラ